

「赤れんが便り」Vol.95 連載「豊田喜一郎による国産自動車事業化への道」
第5回 事業化時点までの日本の自動車文化 参考文献 ※著者五十音順

書籍

- (1)天野章吾，“日本自動車工業の史的分析”，亜紀書房（1982）
- (2)石井一郎，“日本における道路技術の発達”，国際連合大学（1979）
- (3)井上昭一，“GMの研究—アメリカ自動車経営史”，ミネルヴァ書房（1982）
- (4)宇田川勝，“前期の日本自動車産業—自動車産業政策と日産，フォード，GM”，（財）神奈川県弘済会（1983）
- (5)（財）運輸経済研究センター，近代日本輸送史研究会編，“近代日本輸送史”，成山堂書店（1979）
- (6)大場四千男，“日本自動車産業の成立と自動車製造事業法の研究”，信山社（2001）
- (7)奥村正二，“自動車”，岩波新書（1954）
- (8)尾崎正久，“自動車日本史”，自研社（1942）
- (9)尾崎正久，“自動車日本史（上巻・下巻）”，自研社（1955）
- (10)笠信太郎，“日本経済の再編成”，中央公論社（1939）
- (11)瀨瀨厚，“総力戦体制研究”，三一書房（1981）
- (12)（財）国際交通安全学会編，“「交通」が結ぶ文明と文化”，技報堂出版（2006）
- (13)後藤靖，“日本帝国主義の経済政策”，柏書房（1991）
- (14)小山弘健，“日本軍事工業の史的分析”，御茶の水書房（1972）
- (15)塩野七生，“ローマ人の物語（10）すべての道はローマに通ず”，新潮社（2001）
- (16)櫻井清，“戦前の日米自動車摩擦”，白桃書房（1985）
- (17)四宮正親，“日本の自動車産業—企業活動と競争力：1918-70”，日本経済評論社（1998）
- (18)孫飛舟，“自動車ディーラー・システムの国際比較”，晃洋書房（2003）
- (19)中村静治，“現代自動車工業論”，有斐閣選書 R（1983）
- (20)日本国有鉄道編，“日本陸運二十年史（第1巻・第2巻）”，日本国有鉄道（1956）
- (21)平沢照雄，“1930年代日本における統制経済の構造と展開”，筑波大学社会学研究科博士論文（1998）
- (22)武藤博己，“イギリス道路行政史”，東京大学出版会（1995）
- (23)柳田諒三，“自動車三十年史”，山水社（1944）
- (24)山本弘文編，“交通・運輸の発達と技術革新”，東京大学出版会（1986）
- (25)J. E. Vance Jr.，今井源八郎訳，“アメリカ道路交通発達論”，東京大学出版会（1986）
- (26)H. W. McCready，“The Automobile Industry, 1920-1980”，Facts On File, New York-Oxford（1989）

論文

- (1)岩本岳，“第一次世界大戦と軍需工業動員法”，駿台史学 第177号（2023），pp229-256
- (2)奥井正敏，“大正・昭和戦前期における自動車の普及過程”，新地理 36-3（1988），pp30-37
- (3)上山邦雄，“戦前期日本自動車産業の確立と海外展開（上）”，城西経済学会誌 第37号

- (2016), pp33-64
- (4)宇田川勝, “自動車製造事業法逐条説明”, 法政大学経営志林 第 39 卷 4 号 (2003), pp195-209
- (5)加藤健太, “戦間期日本の産業政策と自動車工業－政策パッケージの変容 (1)”, 高崎経済大学論集 第 62 卷 第 1 号 (2019), pp27-48
- (6)加藤健太, “戦間期日本の産業政策と自動車工業－政策パッケージの変容 (2)”, 高崎経済大学論集 第 62 卷 第 2 号 (2019), pp47-82
- (7)加藤健太, “自動車工業の確立と「統制」”, 高崎経済大学論集 第 64 卷 第 1 号 (2021), pp1-27
- (8)川辺謙一, “東京で道路よりも鉄道が発達した 3 つの理由”, 東洋経済 ONLINE (2016)
- (9)関権, “戦前期における自動車工業の技術発展”, 一橋論叢 第 125 卷 第 5 号 (2001), pp 477-493
- (10)北河大二郎, “19 世紀フランス都市土木計画思想とパリ大改造”, 土木計画学研究・論文集 No.14 (1997)
- (11)北原聡, “近代日本における交通インフラストラクチャーの形成”, 社会経済史学 第 63 卷 第 1 号, (1997), pp43-64
- (12)北原聡, “道路法と戦間期日本の道路改良”, 関西大学経済論集 第 51 卷 第 2 号 (2001), pp83-100
- (13)黒崎千晴, “地域内交通の変貌に関する一試論”, 歴史地理学紀要・歴史地理学会 第 8 卷 (1966), pp107-120
- (14)小林英夫, “日本で自動車はどう乗られたのか”, アジア太平洋研究 No.25 (2015), pp-29-48
- (15)白木沢旭児, “日本における統制経済の形成と展開”, 2009 年度政治経済学・経済史学会秋季学術大会 (2009), pp31-39
- (16)為国孝敏, 榛澤芳雄, “鉄道が都市の発展に与えた影響に関する史的研究”, 土木史研究 第 12 号 (1992), pp65-79
- (17)道路交通問題研究会編, “道路交通政策史概観”, 道路交通問題研究会 (2006)
- (18)箱田昌平, “戦前のオート三輪車とプレモタリゼーション”, 追手門経済・経営研究 No.14 (2007), pp27-45
- (19)藤井三樹夫, “河川舟運の衰退と鉄道網形成との関係に関する一考察”, 土木史研究 第 17 号 (1997), pp323-332
- (20)中本和秀, “1930 年代のイギリス自動車工業”, 北海道大学経済学研究 第 30 卷 第 3 号 (1980), pp 339-360,
- (21)森杉寿芳, 橋本有司, “明治期鉄道網形成と開発効果の測定”, 日本土木史研究発表会論文集 第 3 卷, (1983), pp136-142
- (22)吹春俊隆, “日米欧経済摩擦:自動車産業”, 神戸大学経済学研究年報 第 37 卷 (1991), pp21-84
- (23)呂寅満, “戦時期日本における「大衆車」工業の形成と展開”, 土地制度史学 第 170 号 (2001), pp36-54